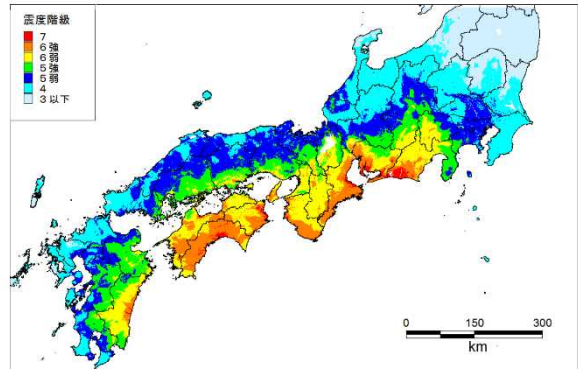
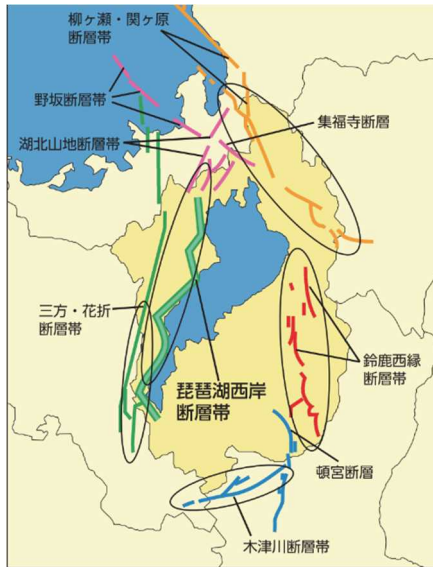


能登半島地震を踏まえた課題と主な取組について

1 滋賀県に被害を及ぼす主な地震

- ・滋賀県は活断層に囲まれており、例えば琵琶湖西岸断層帯を震源とする地震が発生した場合、最大震度7、最大で2,000人を超える死者を想定。
- ・南海トラフ巨大地震は、30年以内の発生確率が70～80%とされ、県内では最大震度6強、300～500人の死者を想定。



断層の名称等	地震の規模
琵琶湖西岸断層帯	M 7.1程度
花折断層帯	M 7.3程度
木津川断層帯	M 7.3程度
鈴鹿西縁断層帯	M 7.6程度
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯	M 7.6程度
南海トラフ巨大地震	M 8～9

左図：滋賀県を囲む活断層

右図：南海トラフ巨大地震陸側ケースの震度分布

右表：政府の地震調査研究推進本部の主要活断層長期評価抜粋

2 能登半島地震を踏まえた課題と主な取組について

課題	課題に対する主な取組
①迅速・的確に対応できる 受援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部をはじめとする災害対応体制の強化 ・広域応援の受入体制の強化、市町受援計画策定支援 ・職員の防災人材育成、総合防災訓練等の各種訓練の実施 ・地方合同庁舎の非常用電源設備の強化
②輸送手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・道路啓開計画の策定 ・災害時の湖上輸送検討、関連企業等との協定締結 ・緊急輸送道路の橋梁耐震化、無電柱化 ・バイパス道路の整備
③高齢化進展を踏まえた 「自助」「共助」の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ・地震防災に係る県民意識調査の実施 ・地区防災計画策定支援 ・個別避難計画作成支援
④ライフライン途絶時の避難	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーラーの導入 ・避難所運営に係る報告会、研修会等の開催

- 赤字：能登半島地震を受けて、早急に検討・対応する事案・事業
- 黒字：能登半島の教訓を反映し、継続して実施する事案・事業